

## 海外展開のススメ

海外事情編

# ベトナム市場の動向

国際センター  
とっぴと  
とびと

東南アジア市場の中でも、経済成長が著しく、有望な市場の一つであるベトナム。今回の「海外展開のススメ」は、日本食品輸入卸業を行っているバイヤーにベトナム市場について伺いました。

「ベトナムでの日本食品の需要はどのようか。」

「都市部を中心に日本食品の人気が高まっています。特に品質・安全性が重視されており、富裕層、中間層の拡大とともに需要が伸びています。スーパー

や日本食レストランでも日本産の食品が目立ってきました」

「鳥取県産食品に可能性はありますか。」

「鳥取県産の梨や柿、松葉ガニや白イカなどの特産品は、ベトナムの高級品市場で評価される可能性があります。また、

健康志向の高まりから、有機栽培や添加物の少ない食品は特に注目されるでしょう。現在、ベトナムのコンビニエンスストアやスーパーで鳥取県産品の販売会を行っています。その中ではアイスクリーム、カニ加工品、麺製品の人気が特に高いです」

「販売の課題は何ですか。」

「最大の課題は『認知度の向上』です。輸入品は価格が高くなるため、

付加価値を明確にし、中流層以上をターゲットにした商品の差別化が必要です。その上で、その価値を効果的に伝えるためのブランドプロモーションが重要となります。展示

会や試食イベント、インフルエンサーの活用に加え、SNSも大変有効です。特に、1分程度のPR動画を作成し、SNS上で積極的に展開することで、商品の魅力を広くアピールできます」



今後の展望について

ベトナム市場は成長を

続けており、適切なマーケティングと物流体制を整えば、鳥取県産食品の成功が期待できます。当センターも引き続き日本食品の魅力を広めていきたいと思っています。

詳しくは、当センター（☎30-3161）にお問い合わせください。